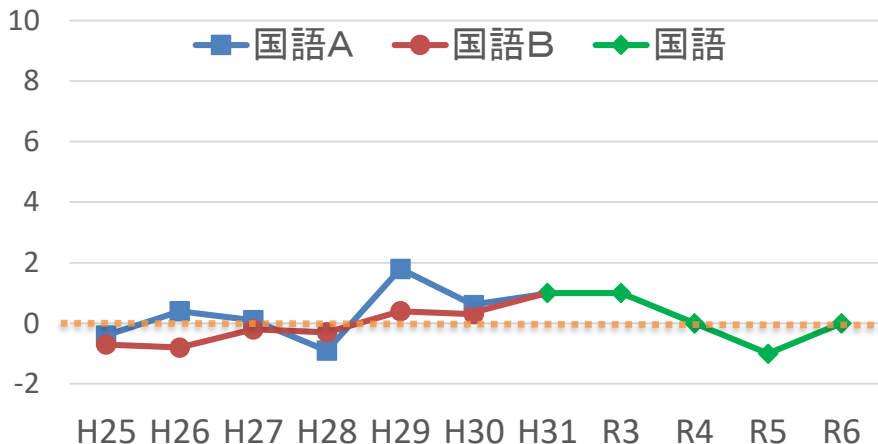


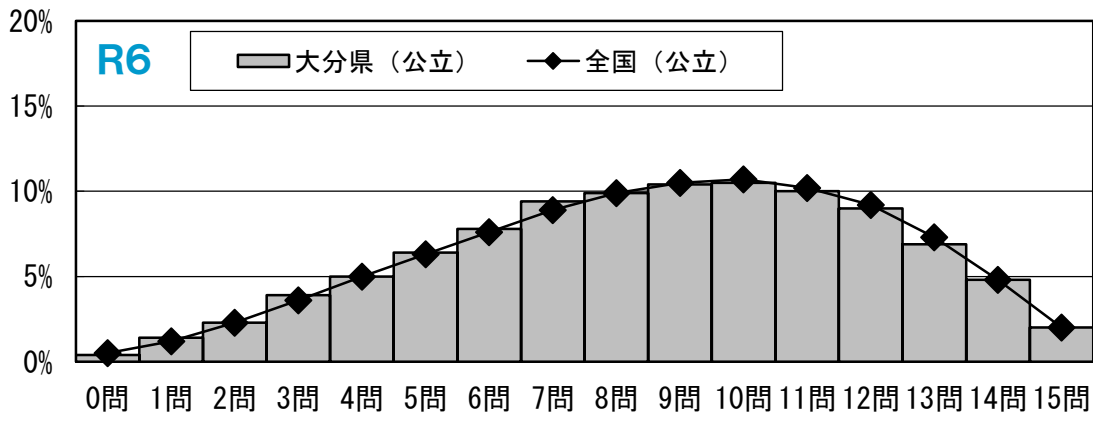
結果のポイント

1 全国平均との差の経年変化



○全国平均並みである。

4 正答数度数分布



2 領域別の結果

学習指導要領の内容	県	全国平均
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	58.8	59.2
(2) 情報の扱い方に関する事項	57.8	59.6
(3) 我が国の言語文化に関する事項	80.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	58.3	58.8
B 書くこと	63.4	65.3
C 読むこと	47.5	47.9

○「我が国の言語文化に関する事項」は全国平均を上回る。
 ▲「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと」は、全国平均を下回る。

3 観点別の結果

観 点	県	全国平均
知識・技能	62.1	62.0
思考・判断・表現	54.6	55.4

○「知識・技能」は全国平均を上回る。
 ▲「思考・判断・表現」の観点は全国平均を下回る。

▲低学力層の生徒の割合(正答率20%以下)が全国平均より多い。
 ▲正答数が全国平均以上(10問以上)の生徒の割合は全国値を下回る。

課題が見られた問題と指導の改善 正答率が低かった問題

大問2設問四 【平均正答率 大分県40.3% 全国42.6%】
【無解答率 大分県9.1%】

目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかを見る問題

説明的文章(「植物の形には意味がある」園池公毅)を読み、解答する問題

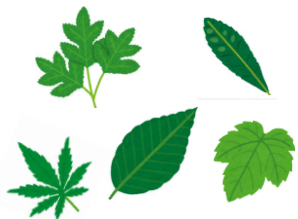


図 さまざまな形の葉

葉の形を表す言葉を二次元的(平面的)な形容と三次元的(厚みの方向の)形容のグループに分け、それぞれの特徴を示した上で、生物学がどのようなものかを述べた文章

本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約します。次のア、イから一つ選んで(どちらを選んでもかまいません。)要約しなさい。

- ア 筆者が、葉の形を表す言葉をどのようなグループに分け、各グループにどのような特徴があると述べているかについて。
- イ 筆者が、数学や物理学などと生物学とでは、学問としてどのような違いがあると述べているかについて。

ア・イのどちらを選んだかを示した上で、要約した文章を書く。

調査結果から見える生徒の実態

【正答例】※アを使って解答

・葉の形を表す言葉を、二次元的な形容のグループと三次元的な形容のグループに分け、前者には多様性、後者には共通性という特徴があると述べている。

【誤答例】

- ① 筆者は、葉の形を表す言葉を、二次元的な形容のグループと三次元的な形容のグループに分けている。
- ② 筆者は、二次元的は平面という特徴があり、三次元的は厚みという特徴があると述べている。

▲目的に応じて必要な情報を不足なく取り上げて書くことができていない。
▲自分が書いた要約の内容と本文の内容に齟齬がないか見直すことができていない。

指導の改善

- 要約するとは、文章全体または部分を短くまとめることであり、その目的や必要に応じて内容や分量、方法が異なる。そのため、要約する際には、目的を明確にした上で、目的に沿っているかどうかを考えたり、必要な情報を正確に捉えたりしながら要約することが大切である。

【学習指導のポイント】

- ① 「要約する力は日常生活のどのような場面で役立つか」など実生活の繋がりを意識させる。
- ② 対象(相手)や目的を明確にさせ(各自に設定させ)た上で、それらに必要な情報は何かを考えさせながら要約をさせる。
- ③ 生徒が互いの交流により要約文の吟味ができるよう、教師のモデル文(エラー例)を示し、どのような視点で見直すとよやかに気付かせる。
- ④ ③で確認した視点をもとに、各自の要約文について見直しをさせる。

☞指導に当たっては、目的に応じて必要な情報を適切に取り出してまとめられているか、自分の言葉を用いてまとめた部分と元の文章の内容とに隔たりがないかなどを確認しながら「適切さ」「正確さ」を意識して要約できるように指導することが大切である。